

# 目次

## I

原子力と私	3
日本の原子力開発事情	11
恐ろしい原体験への鈍感	17
あれからもう十年	21
二十一年後の反省——原爆記念日に寄せて——	25
われわれに何ができるのか	30
原子力と基礎研究	33
五千年後の世界	36
原子力との十五年	40
シンクロトロン放射の利用	44



原子力研究所の発言に反論する . . . . . 146

甘かった私の考え——實用二号炉買い入れをめぐる—— . . . . . 149

\*

核融合研究の進め方 . . . . . 153

原子力平和利用会議に出席して . . . . . 162

プラズマ研究所の現状 . . . . . 174

核融合炉の将来——二つの国際会議に出席して—— . . . . . 180

架空二十周年記念式典への祝辞 . . . . . 185

プラズマ研究の途 . . . . . 188

核融合を題材にした巨費科学の話 . . . . . 196

ソ連科学者たちの驚くべき執念 . . . . . 205

ブーツストラップの話 . . . . . 209

III

なぜ原子力開発を推進するのか . . . . . 217

原子力時代と日本 . . . . . 224

物理のフェーズ、化学のフェーズ	47
湯川先生とパグウォッシュ会議	50
パブリック・アクセプタンスのむずかしさ	54
彦坂先生の知られざる業績	62
ロンドンの一ヵ月	65
ダイソン『核兵器と人間』との出会い	85
当面の原子力問題——チェルノブイリ事故に関連して——	93

## II

イタリア、スイス、フランスの原子力	109
原子力をめぐる楽観論と悲観論	112
インドの原子力研究	116
ヨーロッパの原子力の国際関係	120
パリの十日間	128
アイゼンハワー大統領へ——日本の原子物理学者として——	135
二つの世界、二つのプール——原子力国際会議に続くもの——	140
ジョリオ・キュリーの死に思う	143





原子力平和攻勢にどう対処するか

日本の原子力をどうする

日本の原子力はどうなる

原子力の天邪鬼精神

原子力研究者の結集

原子力平和利用三原則の四半世紀

解 説

岸田純之助

311

299 293 283 273 258 239